

警 察 本 部

## 1. 部総括表

部名：警察本部

(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
10-1	警務部	(70,743) 7,057,116	(67,256) 6,814,683	90,204	(3,487) 152,229	
10-2	生活安全部	(71,369) 7,894,582	(66,733) 7,750,513	62,856	(4,636) 81,213	
10-3	刑事部	4,049,076	4,013,448		35,628	
10-4	交通部	(114,006) 5,857,408	(113,071) 5,553,572	218,919	(935) 84,917	
10-5	警備部	(7,689) 1,730,033	(7,689) 1,703,675	2,500	23,858	
	部計	(263,807) 26,588,215	(254,749) 25,835,891	374,479	(9,058) 377,845	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

## 2. 課総括表

課名：警務部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-1-1	警察活動感染防止対策事業	12,059	9,280		2,779	主要施策の成果の概要 (10-1-1)に記載
10-1-2	警察施設整備事業 (坂出警察署整備事業)	(8,000) 1,052,272	(7,461) 1,051,732		(539) 540	主要施策の成果の概要 (10-1-2)に記載
10-1-3	警察施設整備事業 (警察施設改修等事業)	46,707	32,846		13,861	主要施策の成果の概要 (10-1-3)に記載
10-1-4	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業 (サイバー犯罪捜査能力強化事業)	1,545	1,478		67	主要施策の成果の概要 (10-1-4)に記載
10-1-5	公安委員会運営費	7,027	6,963		64	公安委員会の運営に要する経費 公安委員報酬 6,612
10-1-6	給与費	3,770,580	3,741,388		29,192	警務部職員の給与費 給料1,581,756、職員手当等 1,578,258、共済費581,374
10-1-7	一般事務費	77,685	57,408		20,277	警察署協議会委員報酬等の警察運営に要する経費
10-1-8	庁舎等管理費	(59,496) 809,594	(56,549) 680,888	90,204	(2,947) 38,502	警察施設の維持及び補修に要する経費
10-1-9	被服調製費	(1,350) 172,214	(1,349) 165,091		(1) 7,123	警察官に支給する制服等に要する経費
10-1-10	福利厚生費	55,295	53,210		2,085	職員の健康診断、疾病予防等に要する経費
10-1-11	情報化の推進	(1,897) 545,538	(1,897) 535,333		10,205	電子計算機を利用した事務の効率化・能率化に要する経費
10-1-12	行財政改革の推進	8,024	7,911		113	事務事業を見直し、合理化を図る経費
10-1-13	坂出警察署整備 (移転等経費)	81,106	77,832		3,274	坂出警察署整備に伴う事務室移転等に要する経費
10-1-14	警察車両の整備	44,026	42,540		1,486	警察車両の計画的な更新に要する経費
10-1-15	警察車両等維持管理費	190,485	178,586		11,899	警察車両及び警察船の燃料費、修繕料等の維持管理に要する経費
10-1-16	装備、給貸与品整備費	5,777	5,507		270	給貸与品及び装備品等の維持管理、整備等に要する経費
10-1-17	恩給及び退職年金費	11,482	9,673		1,809	恩給及び遺族扶助に要する経費
10-1-18	一般警察活動費	78,819	78,549		270	警察の一般行政の運営及び警察電話の維持等に要する経費
10-1-19	広報活動費	1,519	1,214		305	警察音楽隊等を活用して広報活動の充実を図る経費
10-1-20	警察教養費	12,666	11,687		979	柔剣道等の術科訓練、学校教養や職場教養に要する経費
10-1-21	犯罪被害者支援経費	9,692	9,145		547	犯罪被害者の救護及び支援等に要する経費
10-1-22	国際化対策費	4,879	3,546		1,333	来日外国人犯罪に対処するための外国語研修等に要する経費

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-1-23	人材確保対策費	3,795	3,724		71	優秀な人材の確保を図るために要する経費
10-1-24	留置施設管理費	54,330	49,152		5,178	留置施設の適正な管理及び留置業務に要する経費
	課計	(70,743)	(67,256)		(3,487)	
		7,057,116	6,814,683	90,204	152,229	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：警務部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
警務部	(2) 393	[1] 51	[1] (2) 444	育児休業8名、休職2名
合計	(2) 393	[1] 51	[1] (2) 444	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[ ]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を( )外書きにより記載。

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>警察活動感染防止対策事業（10-1-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 感染が拡大する新型コロナウイルス感染症に的確に対応するため、感染リスクの高い作業に係る手当を支給した。</p> <p>2. 具体的内容 新型コロナウイルス感染症に係る手当（9,280千円） 新型コロナウイルス感染症から県民の生命等を保護するための作業に従事した職員等に手当を支給した。 ・特殊勤務手当（3,128千円） ・管理職員特別勤務手当（142千円） ・超過勤務手当（6,010千円）</p>	<p>感染リスクに加え厳しい勤務環境の中、県民の生命及び財産を保護するため、平常時には想定されない作業に従事し、県民の安全・安心を確保することができた。</p>
<p>警察施設整備事業</p> <p>1. 趣旨・概要 治安情勢に的確に対応し、地域住民の安全・安心を確保するとともに、警察活動を支える基盤の充実を図るため、老朽化・狭隘化している坂出警察署の整備や老朽化の著しい警察施設の改修等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 坂出警察署整備事業（10-1-2）（1,051,732千円） 坂出警察署新庁舎建築工事を実施・完了するとともに、旧本館南棟解体及び外構造成工事（1年目）を実施した。 (2) 警察施設改修等事業（10-1-3）（32,846千円） 小豆警察署片城南待機宿舍の解体工事を実施したほか、高松北警察署非常用放送設備の改修工事等を実施した。</p>	<p>県民の期待と信頼に応える力強い警察を構築するため、警察活動を支え、地域の拠点となる警察署の整備やその他警察施設の改修等を推進した。</p>
<p>犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業 （10-1-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起きにくい社会づくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容 サイバー犯罪捜査能力強化事業（1,478千円） 重大なサイバー事案発生時に的確に対処するため、サイバー事案対応に特化した民間研修を捜査員に受講させた。</p>	<p>民間企業が実施する高度な研修を受講し、捜査員のサイバー事案に対する対処能力が向上した。</p>

2. 課総括表

課名：生活安全部  
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-2-1	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業	53,789	51,187		2,602	主要施策の成果の概要(10-2-1)に記載
10-2-2	警察施設整備事業(交番・駐在所の整備等事業)	(71,369) 136,154	(66,733) 68,662	62,856	(4,636) 4,636	主要施策の成果の概要(10-2-2)に記載
10-2-3	風俗営業等事務費	7,143	6,756		387	風俗営業や銃砲所持等の許認可等に要する経費
10-2-4	給与費	7,379,478	7,322,947		56,531	生活安全部職員の給与費 給料3,071,469、職員手当等 3,113,312、共済費1,138,166
10-2-5	通信指令システム維持等管理費	213,360	210,366		2,994	110番通報、緊急配備等通信指令業務の運用に要する経費
10-2-6	地域安全活動等経費	69,659	59,947		9,712	地域活動及び地域警察の運営等に要する経費
10-2-7	生活安全活動費	31,356	27,940		3,416	特別法令違反の捜査や検挙等に要する経費
10-2-8	少年非行防止対策費	3,643	2,708		935	少年非行防止活動等に要する経費
	課計	(71,369) 7,894,582	(66,733) 7,750,513	62,856	(4,636) 81,213	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：生活安全部  
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
生活安全部	(1) 763	[1] (2) 88	[1] (3) 851	育児休業12名、休職4名
合計	(1) 763	[1] (2) 88	[1] (3) 851	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[ ]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を( )外書きにより記載。

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																								
<p>犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業 (10-2-1)</p> <p>1. 趣旨・概要 県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起きにくい社会づくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 地域安全かがわ創造プログラム推進事業 (21,663 千円) ① 初動体制、夜間体制及び機動力等の警察機能の強化等のため、丸亀警察署管内の栗熊、岡田、富熊駐在所を統合し、新たに綾歌交番を整備した。 ② 交番機能と機動力を併せ持つ移動交番車を1台増強整備し、運用体制を拡充した。 ③ 地域の実情に詳しい住民等との情報交換を通じて地域の実態に即した警察活動を推進するための地域安全ネットワークを構築した。</p> <p>(2) 安全・安心まちづくりを推進する防犯カメラ設置促進事業 (7,985 千円) 安全で安心なまちづくりを推進するため、3市30自治会等に対して、防犯カメラの設置に係る初期費用の一部を補助(67基)し、地域の防犯環境を整備するなど、地域の自主的な防犯取組を推進した。</p> <p>(3) 特殊詐欺撲滅事業 (14,119 千円) 悪質・巧妙化する特殊詐欺を撲滅するため、電話着信時に相手方へ警告メッセージが自動で流れる振り込め詐欺撃退装置の体験貸出や、業務委託したコールセンターから県民への直接架電による注意喚起等、高齢者を中心とした幅広い層の県民に対して直接働きかける予防活動を展開するとともに、県内の金融機関等を個別訪問し、従業員に対して特殊詐欺の手口や来店客への声掛け要領等を指導することで水際対策を強化するなど、効果的な特殊詐欺対策を推進した。</p> <p>(4) 自主的な地域安全活動の充実等事業 (5,057 千円) 地域の自主防犯活動に対する物品の貸与や学生ボランティア等による活動を支援した。また、県警察本部や各警察署と地域住民が協働し、地域の実情に応じた各種防犯教室等を頻回に開催することにより、県下一円で各種団体に対して防犯意識・知識の向上を図るなど、犯罪抑止啓発を推進した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>刑法犯認知件数(暦年)(再掲)(件)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1406 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,543</td> <td>4,173</td> <td>4,000以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>重要犯罪検挙率(暦年)(%)</p> <table border="1" data-bbox="943 539 1406 678"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>105.1</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>サイバー犯罪の検挙件数(暦年)(件)</p> <table border="1" data-bbox="943 763 1406 902"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>125</td> <td>180</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>特殊詐欺被害総額(暦年)(再掲)(万円)</p> <table border="1" data-bbox="943 1021 1406 1160"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,321</td> <td>9,985</td> <td>7,000以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	4,543	4,173	4,000以下	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	105.1	100.0	100.0	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	125	180	150	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	8,321	9,985	7,000以下
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
4,543	4,173	4,000以下																							
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
105.1	100.0	100.0																							
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
125	180	150																							
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
8,321	9,985	7,000以下																							

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																
<p>(5) 犯罪に遭いにくいまちづくり事業 (2,016 千円) 子供や女性を犯罪から守るため、防犯機材の維持管理やメール配信システムの運用を積極的に行い、事案を認知した際にはタイムリーな防犯情報を継続的に提供するなど、警察と関係機関が連携した迅速な防犯取組を推進した。</p> <p>(6) かがわマナーアップリーダーズ活動支援事業 (347 千円) 非行防止キャンペーン等に主体的に取り組む中学生 4,471 人を「かがわマナーアップリーダーズ」に任命し、リーダーズが主体となった非行防止キャンペーンや広報啓発用グッズ作成の各種非行防止啓発活動のほか、環境美化活動等の取組を支援することで、若者世代はもとより社会全体の規範意識の向上を図った。</p>																	
<p>警察施設整備事業 (10-2-2)</p> <p>1. 趣旨・概要 地域の安全・安心の拠点である交番・駐在所について、既に耐用年数が経過し、老朽化、狭隘化が著しい施設を対象として、整備を行った。</p> <p>2. 具体的内容 交番・駐在所の整備等事業 (68,662 千円) 高松北警察署香西交番の整備に着手(建築業務等)するとともに、高松南警察署檀紙駐在所及び観音寺警察署大野原駐在所の整備を完了した。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="167 1366 885 1668"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>所在地</th> <th>構造</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高松南警察署 檀紙駐在所</td> <td>高松市 檀紙町</td> <td>W 2 F</td> <td>39,385</td> </tr> <tr> <td>観音寺警察署 大野原駐在所</td> <td>観音寺市 大野原町</td> <td>W 2 F</td> <td>27,348</td> </tr> <tr> <td>高松北警察署 香西交番</td> <td>高松市 香西本町</td> <td>W 2 F</td> <td>1,929</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：木造</p>	施設名	所在地	構造	事業費	高松南警察署 檀紙駐在所	高松市 檀紙町	W 2 F	39,385	観音寺警察署 大野原駐在所	観音寺市 大野原町	W 2 F	27,348	高松北警察署 香西交番	高松市 香西本町	W 2 F	1,929	<p>地域における各種警察活動や地域住民・ボランティア等の活動の拠点としての機能を整備することにより、治安基盤の強化が図られた。</p>
施設名	所在地	構造	事業費														
高松南警察署 檀紙駐在所	高松市 檀紙町	W 2 F	39,385														
観音寺警察署 大野原駐在所	観音寺市 大野原町	W 2 F	27,348														
高松北警察署 香西交番	高松市 香西本町	W 2 F	1,929														



## 2. 課総括表

課名：刑事部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-3-1	給与費	3,728,204	3,699,706		28,498	刑事部職員の給与費 給料1,583,157、職員手当等 1,529,868、共済費586,681
10-3-2	初動捜査体制等 の強化	163,226	161,620		1,606	捜査活動を支援する装備資機材等 の整備に要する経費
10-3-3	犯罪捜査活動費	49,873	46,237		3,636	刑法犯等の犯罪の捜査や検挙に要 する活動経費
10-3-4	銃器犯罪対策費	602	538		64	銃器犯罪等の捜査に要する経費
10-3-5	暴力団対策費	6,502	6,127		375	暴力団の取締り等の暴力団対策に 要する経費
10-3-6	鑑識捜査活動費	100,669	99,220		1,449	犯罪現場等における鑑識活動及び 鑑定業務に要する経費
	課計	4,049,076	4,013,448		35,628	

## 3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：刑事部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
刑事部	400	13	413	育児休業4名
合計	400	13	413	

2. 課総括表

課名：交通部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-4-1	交通死亡事故抑止総合対策事業（体系的な交通安全教育の推進）	51,028	48,321		2,707	主要施策の成果の概要（10-4-1）に記載
10-4-2	交通死亡事故抑止総合対策事業（交通安全施設の整備）	(114,006) 1,340,529	(113,071) 1,120,276	218,919	(935) 1,334	主要施策の成果の概要（10-4-2）に記載
10-4-3	交通死亡事故抑止総合対策事業（交通指導取締りの強化）	3,927	3,927			主要施策の成果の概要（10-4-3）に記載
10-4-4	給与費	3,261,216	3,234,584		26,632	交通部職員の給与費 給料1,383,211、職員手当等 1,360,431、共済費490,942
10-4-5	交通安全施設等維持費	326,109	307,797		18,312	信号機等交通安全施設の維持管理に要する経費
10-4-6	反則金徴収事務費	5,295	4,383		912	交通違反に係る反則金の徴収事務に要する経費
10-4-7	車庫証明事務費	119,568	115,385		4,183	自動車保管場所証明事務に要する経費
10-4-8	運転免許費	654,761	628,220		26,541	運転免許試験や免許証の更新事務等運転免許行政に要する経費
10-4-9	放置駐車違反对策費	41,925	40,636		1,289	違法駐車対策に要する経費
10-4-10	交通指導取締費	35,556	32,549		3,007	交通指導取締りに必要な活動費及び取締り機材の維持管理に要する経費
10-4-11	交通対策費	17,494	17,494			交通渋滞、交通規制等の情報提供による円滑な交通と交通安全の両立に要する経費
	課計	(114,006) 5,857,408	(113,071) 5,553,572	218,919	(935) 84,917	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：交通部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
交通部	333	68	401	育児休業6名、休職2名
合計	333	68	401	

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>交通死亡事故抑止総合対策事業</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>交通死亡事故の減少を目指し、県民一人一人に届く交通安全教育の推進、関係機関・団体等と連携した交通事故の起きにくい道路交通環境の整備、交通事故抑止に資する交通指導取締りの強化等、総合的な交通安全対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 体系的な交通安全教育の推進 (10-4-1) (48,321千円)</p> <p>令和3年の高齢者の被害が交通事故死者数の約6割を占めている実態を踏まえ、高齢者をはじめ各年齢層のほか、歩行者、自転車利用者、自動車運転者等、それぞれの立場や交通手段に応じたきめ細かな交通安全教育や啓発活動を推進し、規範意識の向上を図った。</p> <p>①交通安全教育推進体制の充実等事業 (4,037千円)</p> <p>(i) 自転車利用者の交通安全意識を高めるため、かがわスマートサイクリストへの参加促進など自転車の安全利用に関する交通安全教育や、ヘルメットの着用促進などの広報啓発活動を実施した。</p> <p>(ii) 交通安全意識の向上を図るため、各市町事故分析資料等を活用した広報啓発活動を実施した。</p> <p>(iii) 各種交通安全ボランティア活動を支援するため、公安委員会が委嘱する地域交通安全活動推進委員に対する研修の実施や活動に必要な資機材の整備等を実施した。</p> <p>②交通安全教育推進隊事業 (24,614千円)</p> <p>各年齢層に対する交通安全教育の充実のため、交通安全教育推進隊による交通安全教育車等を活用した出前型、参加・体験型の交通安全教育を実施した。</p> <p>③高齢者交通安全ガイド事業 (19,302千円)</p> <p>警察活動を通じ把握した交通事故に遭う可能性の高い高齢者に対象を絞り、高齢者交通安全ガイドの訪問指導による交通手段に応じたきめ細かな交通安全教育を行うことで高齢者の交通事故抑止を図った。</p> <p>④ドライブレコーダー活用の交通安全教育事業 (368千円)</p> <p>交通事故を起こした四輪のドライブレコーダー映像を活用した再発防止教育を交通事故現場で実施するとともに、交通安全動画に活用可能な映像の提供を当事者に依頼し、交通安全教育への展開を図った。</p> <p>(2) 交通安全施設の整備 (10-4-2) (1,120,276千円)</p> <p>交通事故が多発する交差点や夜間の事故を防止するため、道路標識・標示の高輝度・カラー化、信号機の高度</p>	<p>3. 指標</p> <p>交通事故死者数(暦年)(再掲)(人)</p> <table border="1" data-bbox="967 311 1426 472"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59</td> <td>35</td> <td>39以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通事故重傷者数(暦年)(再掲)(人)</p> <table border="1" data-bbox="967 593 1426 754"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>269</td> <td>232</td> <td>200以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者人口10万人当たりの交通事故による高齢者死者数(暦年)(再掲)(人)</p> <table border="1" data-bbox="967 952 1426 1113"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.4</td> <td>7.9</td> <td>7.4以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	59	35	39以下	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	269	232	200以下	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	14.4	7.9	7.4以下
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
59	35	39以下																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
269	232	200以下																	
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																	
14.4	7.9	7.4以下																	

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>化、LED化等を進めたほか、交通管制システムの高度化による信号制御の最適化及び適切な交通情報の提供、道路標識・標示の新設・更新等、交通安全施設の重点的かつ効果的な整備を図った。</p> <p>①補助事業（567,820千円）</p> <p>（i）信号機の高度化、老朽化に伴う更新改良等 （319,734千円）</p> <p>（ii）交通情報板、信号機電源付加装置等の整備 （39,076千円）</p> <p>（iii）交通管制センターの高度化更新等 （209,010千円）</p> <p>②県単事業（552,456千円）</p> <p>（i）交差点事故を抑止するための道路標識・標示の高度化・カラー化整備（73,876千円）</p> <p>（ii）現地診断箇所における施設整備（690千円）</p> <p>（iii）道路標識・標示の更新等（241,108千円）</p> <p>（iv）道路の新設改良に伴う交通安全施設の整備 （177,795千円）</p> <p>（v）自転車の通行環境整備（1,820千円）</p> <p>（vi）交通安全施設の移設（57,167千円）</p> <p>（3）交通指導取締りの強化（10-4-3）（3,927千円）</p> <p>交通事故の発生状況や県民からの要望を踏まえた交通指導取締りを推進するとともに、重大事故に直結する幹線道路における著しい速度超過違反や交差点関連違反、飲酒運転の交通指導取締りを強化したほか、暴走族等の取締りを徹底するなど、悪質・危険・迷惑性の高い交通違反に重点を置き、交通事故抑止に資する取締りを推進した。</p>	

## 2. 課総括表

課名：警備部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-5-1	給与費	1,583,049	1,570,982		12,067	警備部職員の給与費 給料675,773、職員手当等 644,443、共済費250,766
10-5-2	航空隊運営管理費	(7,689) 88,668	(7,689) 83,548		5,120	警察ヘリコプターの運用等に要する経費
10-5-3	一般警察活動費	3,321	1,635		1,686	警備部の一般事務に要する経費
10-5-4	地域安全活動費	54,995	47,510	2,500	4,985	災害発生時における情報収集や被災者の救護等の現場活動に要する経費
	課計	(7,689) 1,730,033	(7,689) 1,703,675	2,500	23,858	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

## 3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：警備部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
警備部	184	4	188	育児休業2名、休職2名
合計	184	4	188	